

「譲渡交流拠点施設」



現状

ボランティアとの連携構築・譲渡事業の認知度UPにより

「ボランティア」・「譲渡数」が大幅に増加

動物愛護推進員	H23: 31名	H28: 70名	譲渡数: 3.7倍に増加	H15: 110頭	H28: 437頭
ボランティア	H23: 11名	H28: 118名	処分数: 1/6に減少	H15: 10,263頭	H28: 896頭
譲渡登録団体	H22: 1件	H28: 25件			

課題

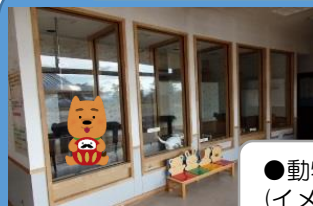
- ・譲渡動物の収容能力の限界
- ・感染症予防に苦慮



施設規模: 約270m² 収容能力: 犬50頭、猫50頭
年間譲渡頭数: 約600頭

さらなる譲渡を推進するとともに、情操教育や災害時の拠点として新たな施設を!

譲渡事業の推進



●動物飼養室
(イメージ図)

情操教育



●体験学習スペース

平時の機能

ボランティアとの協働



●ボランティア活動室

災害時の機能

被災動物を助ける
●救護シェルター



福島県の被災犬(8頭)受入

ショップ・
トレーニング室



●マッチング
スペース

助かる命を助けることによる「殺処分ゼロ」の実現